

誰も私の心の内側はのぞけないわ。

彼女の望むものは……。プリーズ、ベイビー!

NY・インディーズの奇才、スパイク・リーがはなつニュー・セクシー・コメディ。

SHE'S
GOTTA
HAVE
IT



スパイク・リーの

シズ・ガッタ・ハブ・イット

A SPIKE LEE JOINT

トレイシー・カミラ・ジョンズ TRACY CAMILA JOHNS/レッドモント・ヒックス TOMMY REDMOND HICKS/ジョン・テレル JOHN CANADA TERRELL/スパイク・リー SPIKE LEE
監督・編集・脚本: スパイク・リー SPIKE LEE ● 撮影: アーネスト・ディッカーソン ERNEST DICKERSON ● 音楽: ビル・リー BILL LEE ● 製作: シェルトン・リー SHELTON J. LEE ● 製作指揮: モンティ・ロス MONTY ROSS
製作協力: パム・ジャクソン PAMM JACKSON ● 美術: ロン・ペイリー RON PALEY ● 音響: バリー・ブラウン BARRY ALEXANDER BROWN
スチール: デヴィッド・リー DAVID CHARLES LEE ● 振付: ケヴィン・ジェフ KEVIN JEFF



配給 株式会社 シネセゾン KUZUIエンタープライズ

80年代のチャップリン

土曜の夜、ニューヨーク。デイト、パーティ、オープニング、リサイタルと、みんなメチャクチャに忙しく、誰も私のことなどかまってくれそうにもない。不幸中の幸いと、私は独りでスパイク・リーの話題の新作を観に行くことにした。

ヴィレッジのはずれに昔からある小さなシアターは、低い天井と黒ずんだ紅いカーベットの懐かしい建物で、オレンジ色の暖かい光のなかに、うっすらとただよってきたのポップコーンのバターの香りが素敵。客のほとんどは、さまざまな組合せ（男女、女女、男男）の若いカップルで、半数以上が黒人。ほとんど満席に近い会場は、和気あいあいとした雰囲気、ちょうど誰か仲間の家の広いリビング・ルームにでもみんなて集まったような感じだ。

映画がはじまると、のっけから観客は大爆笑。「男たちの口説き方って、どうしてみな、いつもこう陳腐なのでしょう」という女主人公、ノーラ・ダーリングの言葉について、勤め人風、学者風、アーティスト風、スポーツマン風、実業家風など、さまざまな男の典型が、テレビのインタビューにでも答えているかのようにつぎからつぎへと登場して、それぞれそれぞれに知恵をしぼった口説き文句を披露するのだが、男たちが真剣に、自分の男らしさを誇示しようとするほど、もうたまらなくおかしい。

「ストレンジラー・ザン・パラダイス」のジム・ジャームツッシュは、現実を高度に洗練された硬質の詩的空間につくり変えることが得意であるとすれば、スパイク・リーは、ユーモアと粗けずりのドキュメンタリー手法で現実を直撃する。スパイク・リーは、80年代のウディ・アレン、いやチャップリンといったら褒めすぎだろうか。彼がみずから演じているすっぱけたスプーキーな人物「火星人」は、映画だけが産み落すことのできる傑作だ。

そして笑いのうしろに隠されたシリアスなメッセージ。マーズの他に、誠実で所有欲の強いジェイミー、コミカルなマッチョ男グリアーと、同時に三人のボーイフレンドを持つ、官能的で独立心の強い自由な女、ノーラ・ダーリングは、彼らとのかかわりをおとして、やっとひとつの結論に達する。「この映画は、つまるところ、コントロール——私の心と私のからだの——についての考察です。それを所有するのは一体、誰？ 彼ら、それとも私？」

都会的な笑いがざっしり詰まったこの実にニューヨーク的な映画に、はたして日本の観客はどのような反応をしめすのだろうか。

(ビデオ作家・道下匡子)

解説

目をみはるような才気とユーモアに満ちた、今、ニューヨークで最もヒップな映画がこの作品だ。監督は29歳の新人スパイク・リー。ブルックリンを舞台に、それぞれ性格の違う三人の男達と関係をもちながら、誰にもコントロールされず自由に生きる一人の女性をクールにセクシーに描いている。

題名の「シーズ・ガッタ・ハヴ・イット」とは「彼女が望むもの」という程度の意味。彼女が望むものは愛なのか男なのか……。

スパイクはこの映画を3000万円の低予算、12日間の短期間で撮り上げ、1986年カンヌ映画祭で高い評価を得、興行的には「ヴァラエティ」の全米興行成績のトップ10にランクされた。これはまさに彼のアイデアの勝利だろう。今後はジム・ジャームツッシュとならんで、これからの活躍が大いに期待されるNYインディーズの旗手といえる。

SHE'S GOTTA HAVE IT

★1985年製作/アメリカ映画/86分
パートカラー/ビスタサイズ
配給: 株式会社セゾン/KUZUIエンタープライズ(株)

シーズ・ガッタ・ハヴ・イット



キャスト ■ トレイシー・カミラ・ジョーンズ
レッドモンド・ヒックス
ジョン・テレル
スパイク・リー

スタッフ ■ 監督、脚本、編集 スパイク・リー
撮影 アーネスト・ディッカーソン
音楽 ビル・リー
製作 シェルトン・リー
スチール デヴィッド・リー

●スパイク・リー
ジョージア州アトランタ生まれの29歳。その後ニューヨーク・ブルックリン移住。ニューヨーク大学映画科で映画製作を専攻し、修士課程を終了。卒業製作はブルックリンの黒人街を描いた「ジョーズ・バーバーショップ」。この作品は世界中の映画祭で上映され好評を博し、ニューヨーク公営テレビのACADEMY AWARD OF MOTION PICTURE ARTS & SCIENCES STUDENT ACADEMY AWARDを受賞し、ロカルノ映画祭では銅賞を受けた。

次回作は南部の黒人大学が舞台のミュージカル。この映画でファンクからジャズまでブラック・ミュージック全体のスペクトルをふくらませるといふ。

ストーリー

NY、ブルックリン・ブリッジ。その近くのアパートメントに住む主人公ノーラ・ダーリング(トレイシー・カミラ・ジョーンズ)自由な考え方をもちた魅力的な黒人女性である。

彼女には三人の恋人がいる。一番親しくしているのがジェイミー(レッドモンド・ヒックス)。エゴイストではあるが、彼女をよく理解し、ノーラの誕生日には趣向をこらしたプレゼントをして彼女に大変気に入られる。

いつも自転車にのっている失業中のマーズ(スパイク・リー)。ユーモアがありコミカルで彼女を退屈させない。

グリアー(ジョン・テレル)。モデルをしているヤッピー。常にエクササイズに精を出しているナルシスト。

もう一人、ノーラをレスビアンへの道に誘おうとしているオバル(レイド・ドゥエル)。

ジェイミーがノーラとオバルの仲を疑ったり、グリアーに病気を言われたノーラがカウンセリングに相談に行ったり、色々とトラブルが生じてくる。

そんなある日、ノーラが感謝祭のディナーに三人を招待し同席させる。グリアーは怒って席を立ち、ジェイミーは…、マーズは……。

特別鑑賞券は都内各プレイガイド、チケット・セゾン、チケットぴあ、セゾン系各劇場他でお求め下さい。グループ鑑賞のお申し込みは株式会社セゾンまで。☎03(541)2508。
(渋谷・大森は自由席定員制・入替制)

2月上旬より同時ロードショー!

共通特別鑑賞券1,200円絶賛発売中(当日一般1,500円・学生1,300円)

シネセゾン 渋谷

渋谷道玄坂サ・プライム6階 ☎03(770)1721

連日 11:40 1:40 3:40 5:40 7:40

■金・土は◎9:30よりレイトショー

キネカ大森

国電大森駅東口西支5階 ☎03(62)6000

連日 12:00 2:20 4:40 7:00

■土及び祝日前夜は◎9:20よりレイトショー

キネカ錦糸町

国電錦糸町駅南口・錦糸町西武7階 ☎03(631)3121

連日 11:40 1:30 3:20 5:10 7:00

■土のみ◎9:00よりレイトショー